

科目等履修生 令和6年度後期授業開講日程一覧

※ 今後、変更となる場合があります。

【授業時間】
平日 6限 18:30~20:00
7限 20:00~21:30

【授業時間】 1限: 9:00 - 12:10 2限: 10:40 - 12:10
土日 3限: 13:00 - 14:30 4限: 14:40 - 16:10
5限: 16:20 - 17:50 6限: 18:00 - 19:30

第3・7クォーター

Q	No.	科目名称	曜日	教員名	教室	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	
Q3	1	ビジネス統計	火	菅	1275	9/24		10/1		10/8		10/15		10/22		10/29		11/5		11/12		
	2	戦略法務	水 (前半)	安達	1275	9/25		10/2		10/9		10/16	/									
	3	上場とコーポレートガバナンス	水 (後半)	安達	1275	10/23		10/30		11/6		11/13										
	4	サプライチェーンマネジメント	木	毛利	1275	9/26		10/3		10/10		10/17										
	5	経営戦略演習1	金 前半	中村	1275	9/27		10/11		10/25		11/8	/									
	6	マーケティングB	金 後半	江戸	1275	10/4		10/18		11/1		11/15										
	7	特別研究F(スナフオード 大学連携科目)	土1・2 (隔週前)	土本・磯貝	-	9/28		10/12		10/26		11/9										
	8	多様性と人材マネジメント	土3・4	木谷	1275	9/28		10/5		10/12		10/19	10/26	11/2	11/9	11/16						
	9	経営と戦略思考	土5・6 (隔週前)	河内	1275	9/28		10/12		10/26		11/9	/									
	10	ファイナンスA	土5・6 (隔週)	高橋陽	1275	10/5		10/19		11/2		11/16										
	11	経営と戦略思考<福山市開講>	日1・2 (隔週)	河内	※1	9/29		10/13		10/27		11/10										
Q7	12	特別研究E(サービスマネジメント)	土1・2	磯貝・吉川	1278	9/28		10/5		10/12		10/19	10/26	11/2	11/9	11/16						

第4・8クォーター

Q	No.	科目名称	曜日	教員名	教室	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回					
Q4	13	ファイナンスB	水 (前半)	高橋陽	1275	11/20		11/27		12/4		12/11	/													
	14	スモールビジネスのファイナンス	木	高橋陽	1275	11/21		11/28		12/5		12/12											12/19	1/16	1/23	2/6
	15	経営戦略演習1	土1・2 (隔週前)	中村	1275	11/23		12/7		12/21		1/25														
Q4 春季	16	SME事業経営演習<福山市開講>	集中	中村・岡田	※2	3/14(金) 6,7限		3/15(土) 6,7限		3/16(日) 2~5限			※2 「SME事業経営演習」の会場はまなびの館ローズコム ・3/14,3/15:小3会議室 ・3/16:小1会議室 任意の企業見学ツアーあり													
	17	生産管理	集中 土3・4	浦元	1275	2/1		2/8		2/15		2/22 (入試のため別 会場)	3/1	3/8	3/15	3/22										
Q7-8	18	地域事業開発演習<福山市開講>	集中 土1・2	中村・修了生	※3	9/28		10/19		11/9		12/21	1/18	2/1	2/15	3/1										

※3 福山商工会議所(福山市西町2-10-1)、リッチモンドホテル福山駅前(福山市東桜町1-1)、まなびの館ローズコム(福山市霞町1-10-1)のいずれか

令和 6 年度後期科目等履修生開講科目 概要及び開講時期

科目名					
ビジネス統計					
担当教員					
菅 由紀子					
配当年次	単位数	科目区分	開講時期	曜日	時限
1 年	2	基礎	第3クォーター (9月～11月)	火	6,7 限
授業の概要					
<p>身近に感じられるビジネス課題をベースにしながら、ビジネス統計に必要な技術、考え方を学びます。統計のベースを学びながら、データ処理の方法やレポートの作成方法、ビジネス課題に多く見受けられる課題を事例に学んで行きます。授業においては、企業の経営課題を題材としてデータを解析し、企業が行うべき施策を見出すことをタームの中で解析するプロジェクト型の学習を行います。データ処理には Excel もしくは Python(Google Colab を用いる想定)でのデータ処理・集計、分析を想定しています。Excel については四則演算の関数が実行できること、Python に関しては Google のアカウントを保持していると望ましいです。シラバス作成時点では、解析対象のデータは受講生の方々と相談しながら企業の意思決定の場面において活用されるデータセットを検討する予定です。また、令和 6 年度はデータ処理・解析の実行とレポート作成に際してグループで行うことを想定しておりますが、これも受講生の皆さんの希望を伺って決定します。変更がある場合は変更時点で受講生の皆さんにお知らせします。</p>					
【備 考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】					
<p>講師作成のテキストは、各回実施後に配布します。また、授業実施の期間中にデータサイエンスの領域や統計に関する大きなトピックがあった際には授業の構成を見直します。データ解析・レポートの作成には授業の受講時間以外の対応時間がかかり必要になることを理解のうえで受講してください。</p> <p>総務省統計局主催「データサイエンス・オンライン講座 社会人のためのデータサイエンス演習」とは重なる部分が多くあります。動画視聴・受講を推奨します。</p>					
【履修条件】					
<p>ビジネス統計もしくはマーケティングリサーチの履修実績があれば望ましいですが、そうでなくても構いません。</p>					
【注意事項】					
<p>シラバスに記載の Excel の操作等を行える前提での履修をお願いします。</p>					

令和6年度後期科目等履修生開講科目 概要及び開講時期

科目名					
戦略法務					
担当教員					
安達 巧					
配当年次	単位数	科目区分	開講時期	曜日	時限
1年	1	応用	第3クォーター前半 (9月～10月)	水	6,7限 (前半)
授業の概要					
<p>社会の前進を生み出す斬新的なビジネスアイデアであっても企業が事業化を進めるに際しては理想と現実の狭間で葛藤する。イノベーションを起こすには法務パートナーが必要であり、「リスクの解像度を上げてチャンスに変える」スタートアップにおいても戦略法務は必携といわれている。真のビジネスリーダーは頼もしい法務(「事業部の懐刀」)は「あなたの判断で世界を変える！」うえで不可欠の存在であることを理解している。</p> <p>この授業では、経営支援の観点からリーガルリスクをマネジメントするために、「リーガルリスクがあります」を卒業してビジネスと伴走していくための法務マネジメント及びマインドセットを学ぶ。なお、授業においてはマンガや演習問題等も駆使しながら最適解を見出すリーガルリスクマネジメント及び戦略法務の神髄を学ぶ。</p>					
【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】					
<p>①「企業法務」及び「組織マネジメントとコンプライアンス」を履修済みであることが望ましい。</p> <p>②MBAホルダーとしてとして恥かしくない能力を獲得したいとの意思を持つ学生の受講を歓迎する。</p> <p>③事前学習(予習)をしっかり行い、「教えて貰う」との受動的態度を捨てて自ら能動的に学ぶこと。</p> <p>④説明の順番等、授業内容については若干の変更もあり得る(授業時に事前告知する)。</p>					
【履修条件】					
会社法の基礎を概ね理解している					
【注意事項】					

令和6年度後期科目等履修生開講科目 概要及び開講時期

科目名					
上場とコーポレートガバナンス					
担当教員					
安達 巧					
配当年次	単位数	科目区分	開講時期	曜日	時限
1年	1	応用	第3クォーター後半 (10月～11月)	水	6,7限 (後半)
授業の概要					
<p>初めは小規模で小さくスタートしたスタートアップも、事業活動を通じて企業価値を継続的に増大させ、いわゆる出口(Exit)戦略の1つとして上場(IPO)を選択することがある。上場企業は、会社法、金融商品取引法及び上場規則等の定めるガバナンスの構築や内部統制(リスクマネジメント、コンプライアンス)の整備と運用が不可欠となる。さらに、上場後は「コーポレートガバナンス・コード」を遵守し、国内外の投資家や多様なステークホルダーの要請に留意しながら、果敢に事業活動を進めなければならない。</p> <p>この授業では、上場をめざすスタートアップの経営に必要な法規制事項や資金調達、労務戦略から将来的なイグジット戦略に至るまでの戦略を学ぶ。また、上場審査についても学び、非上場企業であるスタートアップと上場企業のコーポレートガバナンス面での相違に加え、双方の経営者及び従業員(労働者)の有するガバナンス意識の乖離についても学ぶ。その後、事例研究で受講生とディスカッションを行う。受講生は、スタートアップであっても他社との競争上は実効あるコーポレートガバナンスの構築と運用が極めて重要であることが理解できる。</p>					
【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】					
<p>①HBMS 在学生の多くは非上場の中小企業に勤務する労働者であり、コーポレートガバナンスの重要性を意識したことがないかもしれない。だが、多様なステークホルダーを抱える株式会社にとってコーポレートガバナンスは極めて重要である。多くの中小企業のコーポレートガバナンスが脆弱な現実を踏まえると、他社との競争上も実効あるコーポレートガバナンスの構築と運用が重要である。上場審査を経て株式上場を果たしている上場企業と非上場企業のガバナンス体制の相違等を学び、受講生自身が所属する組織の競争力を高めて欲しい。</p> <p>②説明の順番等、授業内容については若干の変更もあり得る(授業時に事前告知する)。</p>					
【履修条件】					
「戦略法務」を履修している					
【注意事項】					

令和 6 年度後期科目等履修生開講科目 概要及び開講時期

科目名					
サプライチェーンマネジメント					
担当教員					
毛利 信作					
配当年次	単位数	科目区分	開講時期	曜日	時限
1 年	2	応用	第3クォーター (9月～11月)	木	6,7 限
授業の概要					
<p>何故コンビニエンスストアは時短に応じられないのか？ユニクロが成長する理由は？グローバルサプライチェーンが抱えるリスクとその対応は？GAFA が目指すグローバルサプライチェーンとは？スーパー、コンビニエンスストア、ユニクロからトヨタや商社、中間卸業等の日本企業の流通にとどまらず、GAFA のグローバルサプライチェーンの実態と、その成り立ちから現在の実情を学ぶ。その過程で、各々の仕組みが直面する課題やリスクを理解し、ディベート等を通じて、それぞれの課題解決に向けた方向性を導き出し、現在の SCM の先にある具体的な打ち手を考えていく。</p> <p>また近年は米中対立、パンデミックやロシアのウクライナ侵攻が SCM に大きく影響している。そのような環境変化にどう対応すべきかも議論をしていく。</p> <p>授業担当講師は、商社で国内・外のヴァリューチェーンビジネスや SPA ビジネスに長年携わってきた。また直近は日本の中間物流会社の経営者として SCM にも携わっており、その経験も交えて、SCM の実際と直面する課題を学んで行く。授業の後半部分では、ディベート等を通じて課題解決に向けた仮説を立て、日本の流通業界のトップビジネスマンに仮説をプレゼンテーションし、議論する中で、仮説の質の向上と、受講者の能力の向上を図っていく。</p> <p>尚、授業を取り巻く環境によって、ゲストスピーカー及び講義内容を変更する事もある。また、休日を活用したサプライチェーンの 2 講義に現場視察も組み入れる予定ながら、視察が出来ない環境も予想され、その場合は講義室での通常講義に変更する。</p>					
【備 考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】					
<p>講師は商社で国内・外の流通ビジネスや商社のトレーディング、及びバリューチェーンビジネスに携わって来た。その経験と、講師が有する業界最前線で活躍される人脈を活用して、SCM の枠組みと実践を共に学んでいく。尚、各回の順番に関しては、ゲスト講師の都合や講義の進捗状況次第で、前後する事がある。</p>					
【履修条件】					
【注意事項】					

令和6年度後期科目等履修生開講科目 概要及び開講時期

科目名					
マーケティング B					
担当教員					
江戸 克栄					
配当年次	単位数	科目区分	開講時期	曜日	時限
1年	1	応用	第3クォーター 隔週後半 (10月～11月)	金	6,7限 (隔週後半)
授業の概要					
<p>ビジネスを取り巻く市場や環境が激しく変化している現代社会において、企業が存続・成長していくためにマーケティングの重要性は今まで以上に増している。マーケティングの基本は消費者や市場を理解することである。そのため、講義では、消費者行動の基本(情報探索行動、関与、ライフスタイル、代替案評価)を理論的フレームワークを学んだ上で、市場ニーズや市場需要を予測するための具体的な方法や考え方について学んでいくことを目的としている。</p>					
【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】					
<p>「マーケティング A」を履修すること。マーケティング入門を受講しておくことが望ましい。積極的な姿勢で授業に臨むこと。</p>					
【履修条件】					
<p>「マーケティング A」の履修が必要。</p>					
【注意事項】					

令和6年度後期科目等履修生開講科目 概要及び開講時期

科目名					
特別研究 F(スタンフォード大学連携科目)					
担当教員					
土本 康生 磯貝 日月					
配当年次	単位数	科目区分	開講時期	曜日	時限
1年	1	専門	第3クォーター 隔週前半 (9月～11月)	土	1,2 限 (隔週前半)
授業の概要					
<p>イノベーションを生み出し新規創業の担い手となる人材の育成が国や組織の課題となる中、そして世の中の不確実性が増す現在、新しい視点や着想でこれまでにない価値を生み出せる人材の育成が求められています。そこで注目されているのがアントレプレナー(起業家)教育です。</p> <p>本講義では、受講者とシリコンバレーを中心とした国外で活躍する人材をつないで交流を促進し、参加者全員が起業をめぐる新しい考え方を蓄積する場を提供します。アントレプレナーから、起業に至るまでの、そして起業後の経験を伺います。ビジネスの中核を担う技術やサービスの概要に続けて、起業家としてのアプローチやビジネス哲学などを絡めた講義をいただき、続けて受講生が自由に質問したり発言できる時間を設けます。授業後半は、担当グループの受講生のファシリテーションにより、毎回異なるテーマに沿って議論し、授業前半の学びを深めていきます。</p> <p>本講は、スタンフォード大学の学習管理システム CANVAS を使って実施されます。受講生は CANVAS のサイトから各回の講義に必要な連絡事項・課題などをチェックし、事前学習を目的とした教材(文献・動画など)にアクセスし、オンライン・ディスカッションに参加することが求められます。</p>					
【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】					
<p>シリコンバレーで活躍する人材と直接交流する貴重な機会です。ネットワーク、視野、そして世界観を広げるつもりでぜひ積極的に質問・発言をしてください。ディスカッションやグループワークにも自主的な姿勢で臨んでください。そのためには事前課題にきちんと取り組むことが求められます。Canvas の情報をこまめに確認してください。</p>					
【履修条件】					
【注意事項】					

令和6年度後期科目等履修生開講科目 概要及び開講時期

科目名					
多様性と人材マネジメント					
担当教員					
木谷 宏					
配当年次	単位数	科目区分	開講時期	曜日	時限
1年	2	応用	第3クォーター (9月～11月)	土	3,4 限
授業の概要					
<p>日本企業のグローバル化は全世界市場をその対象とし、サプライチェーンマネジメントによって地域企業や中小企業を巻き込む形で進化を遂げている。その過程において国際化、IT化、分権化といった企業側からの事情のみならず、企業の社会的責任(CSR)の側面からも企業におけるダイバーシティ(多様性)の推進とそのマネジメントは喫緊の課題となっている。本授業では、今日における人材マネジメントモデルを「ダイバーシティ・マネジメント」と位置付け、多様な人材のマネジメント手法に関して、理論的かつ実証的な考察を行っていく。講義はテキストおよび参考文献に基づく発表とレクチャーを中心に行うが、新聞・雑誌記事のトピック解説、ケースメソッド、グループディスカッション、全体討議も織り交ぜる。期末には自社(あるいは特定企業)の多様性に関する課題を取り上げ、プレゼンテーションを行う。(*授業の進め方は履修人数によって変動することがある)</p>					
【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】					
<p>民族や文化の同質性を基盤とした日本企業の競争優位は崩れつつあります。人材の多様性に基づくダイバーシティ・マネジメントを学ぶため、高い問題意識と入念な事前準備をもって参加してください。</p>					
【履修条件】					
人事管理の基本的知識および実務経験					
【注意事項】					

令和6年度後期科目等履修生開講科目 概要及び開講時期

科目名					
経営と戦略思考					
担当教員					
河内 誉帆					
配当年次	単位数	科目区分	開講時期	曜日	時限
1年	1	基礎	第3クォーター 隔週前半 (9月～11月)	土	5,6限 (隔週前半)
授業の概要					
<p>本科目は、グローバルや日本企業における経営戦略の実践について、講師の実務経験やケーススタディに基づき、実際に使える戦略策定メソッドや経営戦略を策定するうえでの要諦を講義形式中心に学習していく</p>					
【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】					
<p>特別講師やゲストスピーカーを招聘する可能性もあるため、シラバスの順番通りにならない可能性や各回のテーマが変更される可能性がある</p>					
【履修条件】					
【注意事項】					

令和6年度後期科目等履修生開講科目 概要及び開講時期

科目名					
経営と戦略思考 <福山市開講>					
担当教員					
河内 誉帆					
配当年次	単位数	科目区分	開講時期	曜日	時限
1年	1	基礎	第3クォーター 隔週前半 (9月~11月)	日	1,2 限 (隔週前半)
授業の概要					
<p>本科目は、グローバルや日本企業における経営戦略の実践について、講師の実務経験やケーススタディに基づき、実際に使える戦略策定メソッドや経営戦略を策定するうえでの要諦を講義形式中心に学習していく</p>					
【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】					
<p>特別講師やゲストスピーカーを招聘する可能性もあるため、シラバスの順番通りにならない可能性や各回のテーマが変更される可能性がある</p>					
【履修条件】					
【注意事項】					

令和 6 年度後期科目等履修生開講科目 概要及び開講時期

科目名					
ファイナンス A					
担当教員					
高橋 陽二					
配当年次	単位数	科目区分	開講時期	曜日	時限
1 年	1	基礎	第3クォーター 隔週後半 (10月~11月)	土	5,6 限 (隔週後半)
授業の概要					
<p>本授業では、「ファイナンス基礎」の内容を十分に理解していることを前提とし、コーポレートファイナンスに関する基本的な知識及び考え方をしっかり丁寧に勉強する。</p> <p>企業価値の考え方、キャッシュフロー分析を始めとして、リスク、ポートフォリオ理論、資本資産価格モデル(CAPM)という、コーポレートファイナンスにおける重要な知識及び考え方を理解することを目的としている。実習、練習問題等の解答では、表計算ソフト(エクセル等)を用いる。</p>					
【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】					
<p>参考文献にあげている田中・保田(2019)は、必ずしも購入する必要はないが、より深い学びを追求される方は購入されたい。「ファイナンス B」でも活用することから、当該科目を履修される予定の方は購入することで学習効果は高まるだろう。</p> <p>海外 MBA では、以下のようなテキストがファイナンスの講義において使われている(翻訳本があるものに限定し紹介する)。より深い学びを得たい方は、勉強会等の開催の際に活用されることをお勧めする。</p> <p>(1)バーク、ディマーゾ『コーポレートファイナンス:入門編、応用編[第2版]』丸善出版、2014年 (2)ブリーリーら『コーポレート・ファイナンス第10版(上)(下)』日経BP社、2014年 (3)デザイ『HOW FINANCE WORKS』ダイヤモンド社、2020年 等</p> <p>なお、授業の内容は、履修者の関心や理解度に応じて変更する可能性がある。。</p>					
【履修条件】					
【注意事項】					
<p>本科目には履修条件はありませんが、「ファイナンス A」の内容の理解が「ファイナンス B」の履修条件となるため、履修を検討している方は「ファイナンス A」を先に履修ください。</p>					

令和6年度後期科目等履修生開講科目 概要及び開講時期

科目名					
特別研究 E(サービスマネジメント)					
担当教員					
磯貝 日月 吉川 成美					
配当年次	単位数	科目区分	開講時期	曜日	時限
2年	2	専門	第7クォーター (9月～11月)	土	1,2 限
授業の概要					
<p>総務省の日本標準産業分類によると、サービス産業に属す業態は多岐にわたり、日本の GDP の約 7 割を占める。サービス産業の現状の特質と将来の傾向を探ることは、今後の日本経済の持続的成長には必要である一方、コロナ禍により先行き不透明な不確実性が色濃い現代社会においては現実をしっかりと見極め、柔軟に対応できる思考も必要不可欠である。</p> <p>この授業では多分野にわたり、一線で活躍する専門家や実務家の声を聞き、ディスカッションやワークショップを通して各業種の実態と経営革新について学び、多様化するサービスやマネジメントの本質を根底から問い直す。そして、事業創造力や編集思考力を高め、未来へ向けた持続可能性を検討するものである。</p>					
【備 考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】					
<ul style="list-style-type: none"> ・お呼びする専門家・実務家のスケジュール調整の結果、取り扱うテーマが変更、回が前後する可能性がある。また、アンケートやワークショップの結果などから予定を変更する可能性がある。変更については初回の授業で説明する。 ・多くの学生にとって異分野・異業種の話が中心になるが、いかに自分の分野に応用できるかという視点で思考し、議論に参加することを期待する。 ・授業はデュアル方式を予定しているが、ゲストスピーカーと全国各地から繋いだり、県外からの移動の都合によってはオンラインのみの実施の可能性がある。各回の実施方式について初回の授業で説明する。 					
【履修条件】					
【注意事項】					

令和 6 年度後期科目等履修生開講科目 概要及び開講時期

科目名					
ファイナンス B					
担当教員					
高橋 陽二					
配当年次	単位数	科目区分	開講時期	曜日	時限
1 年	1	応用	第4クォーター前半 (11月~12月)	水	6,7 限 (前半)
授業の概要					
<p>本授業は、「ファイナンス基礎」「ファイナンス A」の授業内容を理解していることを前提とし、コーポレートファイナンスが「実践」できるようにすることを目的としている。資本政策と資本コスト、負債の存在と株式資本の期待収益率、ベータ、加重平均資本コスト(WACC)の関係、さらにペイアウト政策とコーポレートガバナンスを確認しながら、表計算ソフト(エクセル等)を用いて、企業価値評価を「実践」する。</p>					
【備 考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】					
<p>参考文献は、随時授業中に紹介する。なお、田中・保田(2013)Part6、田中・保田(2019)第 9 章、俊野・白須・時岡(2020)第 15 章の内容を講義中にも利用するが、必ずしも購入の必要はない。</p> <p>海外 MBA では、以下のようなテキストがファイナンスの講義において使われている(翻訳本があるものに限定し紹介する)。</p> <p>(1)パーク、ディマーゾ『コーポレートファイナンス:入門編[第 2 版]』丸善出版、2014 年 (2)ブリーリーら『コーポレート・ファイナンス第 10 版(上)』日経 BP 社、2014 年 (3)デザイ『HOW FINANCE WORKS』ダイヤモンド社、2020 年 等</p> <p>なお、授業の内容は、履修者の関心や理解度に応じて変更する可能性がある。</p>					
【履修条件】					
「ファイナンス基礎」、「ファイナンス A」の内容を理解していることを前提とする。					
【注意事項】					

令和6年度後期科目等履修生開講科目 概要及び開講時期

科目名					
スモールビジネスのファイナンス					
担当教員					
高橋 陽二					
配当年次	単位数	科目区分	開講時期	曜日	時限
1年	2	応用	第4クォーター (11月～2月)	木	6,7限
授業の概要					
<p>「ファイナンス」が大企業を対象としているのに対して、「スモールビジネスのファイナンス」は、文字通り、スモールビジネス(中小企業)を対象としている。</p> <p>スモールビジネス(中小企業)は、安定的に推移するビジネスと、急速に成長するビジネス(いわゆる、スタートアップ/ベンチャー)に大別される。各々のビジネスにおけるファイナンスは大きく異なる。</p> <p>授業では、安定的に推移するビジネスを対象とした、スモールビジネスのファイナンス(中小企業金融)と、急速に成長するビジネスを対象とした、アントレプレナーファイナンス(スタートアップ/ベンチャーファイナンス)という2つの領域を扱う。</p> <p>授業は、担当教員からの講義とそれに伴う履修者によるプレゼンを組み合わせて行う。プレゼンに対する成績評価の割合が大きいことから、プレゼンの準備、報告及び議論に多大な労力を伴うことを認識したうえで、履修されたい。</p>					
【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】					
<p>基礎科目である「アカウンティング」及び「ファイナンス」に関連する応用科目として位置付けられており、単位取得レベル相当のファイナンスの知識を習得していることを前提とする。</p> <p>授業の内容は、履修者の関心や理解度に応じて変更する可能性がある。</p>					
【履修条件】					
【注意事項】					

令和6年度後期科目等履修生開講科目 概要及び開講時期

科目名					
経営戦略演習1					
担当教員					
中村 嘉雄					
配当年次	単位数	科目区分	開講時期	曜日	時限
1年	1	基礎	第3クォーター (9月～11月) 第4クォーター (11月～1月)	Q3:金 6,7 限 (隔週前半) Q4:土 1,2 限 (隔週前半)	Q3:金 6,7 限(隔週前半) Q4:土 1,2 限(隔週前半)
授業の概要					
<p>HBMS 基礎科目「経営戦略」の講義を踏まえ、実際に経営戦略(ビジネスプラン)を立案・推進するための実践力を養成することを目的とする。そのため、効果的な経営戦略を立案・推進する上で鍵となるポイントを理解し、それを踏まえた経営戦略(ビジネスプラン)を立案・推進するスキル・能力を育む。</p> <p>このように「理論」と実在企業における経営戦略策定を通じた「実践型教育」による「理論と実践の融合化」により、現場体験及び理論構築の場を提供する。</p> <p>授業日ごとに具体的な手法と企業事例を学習する。併せて地域で頑張る中小企業の経営者をゲストスピーカーとして招聘し、その思考や実体験を学び討議する。</p> <p>具体的な手法や企業事例に関する講義に加え、企業経営者との議論を通じて、経営戦略に対する理解を深め、現場で使える知識・スキルへと昇華させる。</p> <p>また、3～4人のグループに分かれ、実際の企業を題材とした経営戦略(ビジネスプラン)を検討・立案する演習を行う(演習の具体的な内容は、第1回目の講義で説明)。</p>					
【備 考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】					
<ul style="list-style-type: none"> ・HBMS 基礎科目「経営戦略」を履修済であることが望ましい。または、それらの知識を保有していること。 ・積極的な姿勢で授業に参画、貢献すること。 					
【履修条件】					
【注意事項】					

令和6年度後期科目等履修生開講科目 概要及び開講時期

科目名					
SME 事業経営演習<福山開講>					
担当教員					
中村 嘉雄 岡田 浩一					
配当年次	単位数	科目区分	開講時期	曜日	時限
1年	1	応用	第4 クォータ ー集中	金～日	3月14日(金)18時30分～21時30分 3月15日(土)18時00分～21時00分 3月16日(日)10時40分～17時50分
授業の概要					
<p>SMEとはSmall and Medium Enterpriseの略で、中小企業・中小規模組織のことを指す。福山市は、備後圏域の中心都市でSMEが数多く集積しており、経済活力の源泉となっている。その地域を会場として、地域課題を抽出し、その課題を解決するためのSMEの事業経営に関する実践的な演習を行う。</p> <p>具体的には、新事業展開に必要な事業構想、戦略、マーケティングに焦点を当て、実在する中小企業・中小規模組織の経営計画を立案する。</p> <p>なお、中小企業のゲスト講師による講義や任意参加で授業時間外にフィールドワーク(福山市近郊の企業訪問)を予定している。</p> <p>また、授業の中では、SMEに必要な着眼点、事例研究、ブランド施策、地域経済活性化策などについて取り上げる予定である。</p>					
【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】					
<p>日程 ①3月14日(6・7限)、②3月15日(6・7限)、③3月16日(2-5限) ※金・土・日の3日間 場所 まなびの館ローズコム(福山市霞町1-10-1) ①3月14日:小3会議室 ②3月15日:小3会議室 ③3月16日:小1会議室 また、任意の企業見学ツアーを予定しており、こちらも決まり次第通知する。</p>					
【履修条件】					
【注意事項】					

令和 6 年度後期科目等履修生開講科目 概要及び開講時期

科目名					
生産管理					
担当教員					
浦元 淳也					
配当年次	単位数	科目区分	開講時期	曜日	時限
1 年	2	応用	第4クォーター集中 (2月～3月)	土	3, 4限
授業の概要					
<p>生産管理とは、「主に製造業にて、受注～出荷まで、定められた工程に従って、業務とアウトプットが適正に流れていることを管理する技術」であるが、正しく生産管理をするためには、定められた生産工程自体を正しくしておく必要がある。</p> <p>本授業では、正しく最適な工程を構築する技術を教える。一般的な工程分析手法により、作業スピード、生産性はすでに十分向上しているが、これからの生産性向上のポイントは、人間の思考工程における生産性を向上することであり、山田眞次郎先生が開発した「プロセス・テクノロジー」という工程分析・短縮の技術を用いて、技術で言えば設計・製造等、文科系で言えば経理・営業・企画など、人の思考の連鎖で行われる工程の分析手法を教える。この技術は、製造業のみならず、どの分野にも使える技術である。山田・浦元は、「プロセス・テクノロジー」を用いて、日本の大企業 80 社の思考工程分析を行った経験があるが、全ての会社の工程を、1/2 以下に短縮した実績を持つ。その秘訣を教える。</p> <p>プロセス・テクノロジーと称しているが、概念とメソッドであるから、バックグラウンドが、文科系でも、理系でも理解できる。まず講義で基本的な概念の教え、分析用フォーマットを使い実習形式で、課題の工程を、各自で分析してもらう。思考工程の分析は、熟練者の判断項目とその判断基準の連鎖を(思考工程の手順)あぶり出す。例えば、エンジンの設計の判断思考工程は、1万項目の判断の連鎖だった。その 1 万の判断工程で、熟練者が使っている判断基準(往々にして暗黙知と呼ばれる)を、明文化し、コンピュータで熟練者の知識を共有化することで、誰でも同じ判断ができるようにすることである。熟練者が辞めればなくなる知識を、コンピュータの中に、会社の資産として残す方法でもある。前半 4 回の授業は、同じ工程をテーマに思考工程分析手法を教える。後半 4 回の授業は、各人が行っているそれぞれの実務をテーマに、自分の工程分析をしてもらう。昨年の実績では、職種は、公務員、薬剤師、製造部門、ソフト開発など、職種はそれぞれ違っていたが、10 名ほどの生徒のほぼ全ての人が、自分の工程を 1/2 以下にすることができた。</p>					
【備 考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】					
課題をしっかりとやり、授業に臨むことが必要です。					
【履修条件】					
「インクス流！驚異のプロセステクノロジーのすべて」(山田眞次郎著ダイヤモンド)を事前に読んでおくこと。					
【注意事項】					
課題を毎週しっかりとやり、授業に臨むこと					

令和6年度後期科目等履修生開講科目 概要及び開講時期

科目名					
地域事業開発演習<福山市開講>					
担当教員					
中村 嘉雄					
配当年次	単位数	科目区分	開講時期	曜日	時限
2年	2	専門	第7,8クォーター集中 (9月~3月)	土	土曜1・2限 9月28日(土) 10月19日(土) 11月9日(土) 12月21日(土) 1月18日(土) 2月1日(土) 2月15日(土) 3月1日(土)
授業の概要					
<p>本科目は、激変するビジネス環境の中、イノベーションの実現に向け、アントレプレナーシップの観点から新たなビジネスの型をつくるべく、新規事業の創出を目指した事業計画の作成に取り組む。前半ではグループワークを中心に、知識やスキルの異なる多様なメンバーが協力し、最終的な成果物の作成を念頭に、係る一連の流れを経験する。後半では、各自で課題やテーマを設定し、能動的な個人ワークを実施する。グループ討議では、個人ワークの進捗をグループ内で発表し、多様なメンバーとの討議による創発を目指す。個人ワークでは、基本的にホームワークとなるため、各メンバーは自身の進捗を踏まえて、適宜、講師等に助言を求めるなど主体的に取り組む。</p>					
【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】					
<p>積極的な探究の姿勢と準備学習を含む授業への主体的な参加が求められる。</p> <p>授業は原則対面での実施を予定しているが、状況に応じて変更の可能性があるため、各回の実施方式について初回の授業で説明する。</p> <p>受講者数および各人の進捗具合などにより、グループワークの内容や個人ワークとグループワークの比重など各回のテーマが変更、回が前後する可能性がある。</p>					
【履修条件】					
【注意事項】					